

別表 プロトコールについて

プロトコール(プロトコルとも言う)とは審判が試合を始めるまでの手順のことです。コイントスでサービス権を決める試合開始前から、主審がサービス許可の吹笛をするまでの間のことをプロトコール(プロトコル)と言います。

大会などでは「第1試合のプロトコールは8時49分でお願いします」などとなります。

【3セットマッチの場合】〈試合開始前〉

	チーム	主審・副審
試合前	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用しないウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。また、公式練習前には必ずユニフォームになるように呼びかけるとともに、チームキャプテンはユニフォームでコイントスへ参加させる。(キャプテンマークの有無を確認する。)
11分前	監督は、メンバー表の提出し、記録用紙にサインをする。(監督のサインについては、スコアラーの準備が整っている場合は、この時間よりも前にサインをしてもかまわない。) チームキャプテンはコイントスのために記録席に行く。トスを行った後、記録用紙にサインをする。	主審は、記録席前で副審を立ち会わせてコイントスをする。副審は、両チームのチームキャプテン・監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。(スコアラーの準備が整っている場合は、監督のサインに限り、この時間よりも前にサインをさせてもよい。)
10分前	両チームが一緒か、または個別にサービス権を得たチームから公式ウォームアップを開始する。 ※個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。(スパイク練習中は、チーム後方フリーゾーン内でボールを使用するアップをしてもよいが、コート全面を使用する練習の場合はフリーゾーン内であってもボールを使用してアップをしてはならない。)	主審は、公式ウォームアップの開始をホイッスルするとともに、ボール、公式記録用紙、ユニフォームなどのゲームに必要な道具をチェックする。また、ラインジャッジ、ボールリトリバーなどの役員との打ち合わせを行う。 副審は、公式ウォームアップの計時を行うとともに、両チームの登録選手をチェックする。(公式練習は15名登録のうち、12名が行える。12名以上が練習していた場合は、その選手をベンチへ着席するよう促す)
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は交代する。	副審は、個別にウォームアップを行っている場合は、その交代をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは全員速やかにベンチへ戻る。	主審は、公式ウォームアップの終了をホイッスルで合図する。
3分前	登録している選手のうち、12名の選手はエンドラインに整列する。 (※アナウンスがある場合はここで実施する) 主審のホイッスルで両チームがアタックライン上で挨拶(一礼)をし、ベンチへ戻る。	主審は、12名以内の人数が整列しているかを確認した後、ホイッスルをする。 審判台の前で、ネットを挟んで記録席から見て左側に主審、右側に副審が位置する。

90秒前	先発メンバーは、コート内に、ラインアップシート(目玉)通りに並ぶ。リベロは、ラインアップ確認後、すぐに交代する場合は、コート外にて並ぶ。(すぐに交代しない場合は、並ぶ必要はない) また、ゲームキャプテンは手を挙げて示す。(チームキャプテンとゲームキャプテンが違う場合)	副審及び記録員は、それぞれスターティングラインアップを照合する。その後、副審はボールを最初のサーバーに送る。 (副審は、必要に応じてリベロの交代を指導する。)
定刻	最初のサーバーは、主審のホイッスルによりサービスを行う。	主審はサービス許可のホイッスルをする。

〈セット間〉

	チーム	主審・副審
セット終了時	セットが終了したら、コート上のプレーヤー(6名)はエンドライン上に整列する。 主審のホイッスルの後、コートチェンジをする。(記録席から見て右側のベンチのチームは、主審台の後ろを、左側のベンチのチームは副審側のネットと記録席の間を通過してコートチェンジをする。)	主審は、両チームのプレーヤーがエンドラインへ整列したら、コートチェンジをホイッスルで合図する。 副審は、主審のホイッスルで、2分30秒の計時を開始する。その後、ポールに対し背中を向けて両ベンチに異常がないかを確認する。もしも1分前になってもラインアップシートが提出されなければ、監督へ提出を促す。(記録用紙にラインアップが記載されたら、訂正することはできない。) 副審とスコアラーは、提出されたラインアップと登録選手を照合し、間違いがないか確認する。
2分30秒後	プレーヤーは副審のホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。	副審は、両チームにコートに入るようにホイッスルで合図をする。副審とスコアラーは、その後直ちにスターティングラインアップを確認する。

〈試合終了後〉

	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、12名の選手はエンドライン上に整列し、主審のホイッスルによりアタックライン上で挨拶(一礼)をする。 チームキャプテンは記録用紙にサインし、主審・副審に感謝の挨拶をする。	主審は、12名の選手を整列させる。主審は、副審とともに定位置についたらホイッスルをする。記録席に戻り、両方のチームキャプテンのサインを確認し、スコアラーとともに記録用紙記入を完了させる。